



作成日：2010年5月9日  
改定日：2012年6月11日

---

製品安全データシート

---

1. 製品及び会社情報

製品名 : ニューヒートジンクチューブ 420

会社名 : 日新インダストリー株式会社

住所 : 東京都新宿区西早稲田 2-15-11

担当部門 : 品質管理部

電話番号 : 03-3209-2181

FAX 番号 : 03-3232-6953

緊急連絡電話番号 : 03-3209-2181

推奨用途及び使用上の制限 : 亜鉛メッキ補修剤

整理番号 : HZ008

2. 組織、成分情報

単一化学物質・混合物の区別 : 合金

	含有量	労働安全衛生法 通知対象番号	CAS No.
錫	1～5%	対象外	7440-31-5
亜鉛	60～70%	対象外	7440-66-6
塩化亜鉛	1～5%	化審法 1-264	7646-85-7
塩化アンモニウム	5～10%	化審法 1-218	12125-02-9

3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性

有害性 : 吸入した場合 有害である。蒸気とミストは肺、気道上部を刺激する。  
皮膚に触れた場合 皮膚を刺激する（かぶれる、ただれる、発赤する）。  
飲み込んだ場合 有害である。眼に入った場合 粘膜を刺激する。

4. 応急処置

下記の応急措置を施すとともに、直ちに医師に連絡をとりその指示に従う。

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 付着物を払い落とす。水又は微温湯を流しながら洗浄する。

眼に入った場合 : 目をこすってはいけない。洗浄な水で洗浄した後、眼科医の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄する。医師の診断を受ける。

## 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 乾燥砂
- 使ってはならない消火剤 : 不燃性であるが、溶融した錫は水との接触により水蒸気爆発を起こす危険があるので注意が必要。
- 特定の消火方法 : 消火作業は可能な限り風上から行う。  
火災発生場所への関係者以外の立ち入りを禁止し、安全な場所に退去させる。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスクを着用する）

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 粉塵の吸入を避ける。眼・皮膚などの接触を避け漏洩場所にはロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。
- 環境に対する注意事項 : 粉塵の発生に注意しながら、粉塵の発生に注意して飛散防止を図り、保護眼鏡、手袋等の保護具を着用して回収する。
- 除去方法 : 新たな漏洩に注意しながら、粉塵の発生に注意して飛散防止を図り、保護眼鏡、手袋等の保護具を着用して回収する。

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 防塵マスク、保護手袋、保護眼鏡を着用し、局所排気装置設置場所で取扱う。
- 保管 : 雨漏り、水漏れしない換気、通気の良い所で保管する。  
水気、火気厳禁。

## 8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 完全密封
- 許容濃度  
管理濃度 : 情報無し
- 許容濃度 : ACGIH : TLV-TWA 2mg/m<sup>3</sup> (Sn)  
OSHA PELTWA 2mg/m<sup>3</sup> (Sn)  
MSHATWA 2mg/m<sup>3</sup> (Sn)
- 保護具
- 呼吸器の保護具 : 防塵マスク、簡易防塵マスク。
- 皮膚の保護具 : 保護手袋。
- 目の保護具 : 保護眼鏡（安全ゴーグル）、保護面（防災面）
- 皮膚及び身体の保護具 : 作業服、安全靴。状況により保護前掛け。

## 9. 物理的及び化学的性質

## 製品として

- 物理的状態
- 形状 : 固体
- 色 : 銀色

臭い : 無臭

物理的性質が変化する特定の温度／温度範囲

沸点 : 2,270°C (Sn)、906°C (Zn)

融点 : 約 420°C

密度 : 7.2g/cm<sup>3</sup> (計算値)

溶解性 : 水に不溶。強酸、強アルカリに可溶。

#### 1 0. 安定性及び反応性

安定性 : 常温、常圧で安定

反応性 : 強酸化剤、酸類、硫黄、強塩基類、ハロゲンとの接触不可。

その他の危険性情報 : 特になし

#### 1 1. 有害性情報

急性毒性は明らかではない。

#### 1 2. 環境影響情報

環境への影響に関するデータはない。

#### 1 3. 廃棄上の注意

産業廃棄物処理業者に委託し、処分することが好ましい。  
元素状態にある物質は再利用のため回収することが好ましい。

#### 1 4. 輸送上の注意

注意事項 : 「取り扱い及び保管上の注意」の項の記載に従う。  
転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に  
行う。

#### 1 5. 適用法令

労働安全衛生法 : 施工令第 18 条の 2 [名称等を通知すべき有害物 (MSDS 対象物  
質)] No.321 (Sn)

化学物質管理促進法 : 該当しない

#### 1 6. その他の情報

本文章は製品の安全情報を記したものです。品質保持上の諸要件については、技術資料、仕様書等  
をご参照下さい。

危険有害性の評価は必ずしも充分ではありませんので取扱いには充分注意して下さい。